

## 追加ルール:オンライン・小人数で『カオスフレア』を遊ぶ

『カオスフレア』は発売当初から、オフラインセッションに限らず、オンラインセッションでも親しまれてきた。にもかかわらず、これまでオンラインでのプレイに対してガイダンスを用意しなかったのはオンラインでのプレイ環境があまりにも多岐に渡り、また、ツールによってできることできないことが異なった(特にルールブック発売当時の環境では)からである。

しかし、現今の社会情勢を踏まえ、あらためてオンラインセッションをきちんとサポートする必要があると我々は考えた。そこで、これまでの10数年間、皆さんが遊んでくださった中で培われたオンラインセッションのノウハウを元に、オンラインでプレイするためのルール・ガイダンスを行なう。

また、同様に現在のオンラインでひとつのムーブメントとなっている、プレイヤー1～2人のセッションに対するサポートも行なう。もちろんこれまでも『カオスフレア』ではそうしたセッションは可能だったが、あらためてガイダンスを行なうことには意義があると考えている。

なおこれらのガイダンスは、あくまでガイドラインである。あなたのプレイ環境に合わせて、一部を取り入れることにしてもよいし、まったく取り入れなくてもよい。GMは卓の募集時にどのルールで遊ぶか、明瞭にするよくだらう。

### フレアの配布

『カオスフレア』でもっとも重要なのは、フレアの配布である。筆者が主に用いているセッションツール「ココフォリア(https://ccfolia.com/)」ではトランプの配布が可能である。他にも同様の機能を備えたツールがあるが、ひとまず代表的なものとして紹介する。

トランプ配布機能を持たず、テキストベースでフレアを配布する場合は、プレイヤーは便宜上、シーン開始時に「ソフィアに合致した1枚のAと、[パスの数-1]枚の絵札」を持っているものとして扱う。他者にフレアを渡すときは《つ[フレア]》など、それと分かる形でテキストを打ち込み、渡した側は1枚のフレアを失い、受け取った側は1枚のフレアを得る。表記がない限り、このフレアは絵札を渡したのとして扱い、Aを渡す場合は、《つ[A]》などと管理するよくだらう。GMは常に絵札のみを渡すことができる。

### 観客によるセッションの称賛

カオスフレアはパスによって世界と繋がっているが、主要なパスである七本とは別に、より小さなパスが無限に三千世界とリンクしている。これらのパスは、夜空の小さな星のように、見えないところでカオスフレアたちを照らし続けている。

この輝きを「フォトン」と呼ぶ。

すべての観客は、そのセッションに対して「フォトン」を投げ、無言の称賛の意を露わにすることができる。「フレア」はそれぞれのキャラクターまたはGMを称賛するものだが、「フォトン」の対象は、観客を含めてその場の参加者全員と、そこで紡がれたあなたたちの物語なのだ。

「フォトン」はカウンターで管理される。オンラインの場合は、任意のカウンターを用意するか、さもなければ、観客チャット

上で『つ[フォトン]』などと書き込み、その総数をシーン終了後にGMが集計するという形にするよくだらう。観客が投げられる「フォトン」の数に制限はない。

クライマックスフェイズにおいて、毎シーンすべてのPCは蓄積された「フォトンの枚数÷50枚」のフレアを任意のタイミングで山札から引くことができる(1シーンに、PC全員で最大10枚)。ただし、「フォトン」の総数にかかわらず、このドローの権利はすべてのプレイヤーが同様に有する。使用方法に悩んだ場合は多数決とし、それでも決定できない場合はシーンプレイヤーが最終決定権を有するものとせよ。

セッション終了時にGMは「フォトン」の枚数を再度カウントし、発表し、「いかにこのセッションが盛り上がったか」についてのスコアとして参加者一同に礼を言うよくだらう。

### ▼観客の定義

オンラインセッション上で観客を定義することは容易である。すなわち、プレイルームにログインしており、セッションの参加者ではない人間すべてが観客となる(多くの場合、観客用のチャットウィンドウなどで感想を戦わせることとなる)。

ただし、オフラインでのプレイの場合、観客については厳密な定義が必要である。コンベンションなどで『カオスフレア』のテーブルが無闇に人を集めて人だかりを形成し、他のテーブルの迷惑になってはいけないからだ。原則的に「フォトン」のルールはオンラインでのプレイを推奨するが、どうしてもオフラインで用いたい場合は、GMは観客席を設け、「フォトン」を投げることを許可する観客が誰と誰なのかを指定するようにすること(もちろん会場全体の承諾が得られているなら、コンベンションの全員がふらりと「フォトン」を投げられる、としてもよい)。

### 経験点の獲得

オンラインセッションにおいて、GM・プレイヤーともにレコードシートにサインをすることは極めて困難である。もちろん、不可能ではないが事実上無理である、と言ってよくだらう。

このため、オンラインでプレイした場合はレコードシートを直接画像として取り込み、そこに電子的にサインを記入するか、あるいは単に「オンラインセッションでプレイした」とシート所持者が変えて書き込むことで、サインの代わりとすることを許可する。

これはキャラクターの刻印など、GMが介しなければならぬ処理についても同様である。

### 観客の得られる経験点

観客としてセッションに参加した場合、GM・プレイヤー同様に経験点を得ることができる。P097の経験点チケットをコピーし、次の内容を記入すること。

- ・プレイした日時
- ・シナリオのタイトル
- ・GMの名前(あるいはハンドル)
- ・観客(あなた)の名前
- ・カウントされた「フォトン」の枚数

観客として参加することは、GMやプレイヤーと同様に楽しいことである。私たちは、あなたに楽しかったと思ってもらいたいし、その思い出を持ち帰ってもらいたい。そして、あなたがプレイヤーをやることになった時に、少しだけそのお返しができると思うものである。

### 小人数でプレイする

オンラインセッションは小人数でプレイするのに適している。もちろんフルメンバーの4人、これまで多く提示されてきた3人でも楽しく遊ぶことができるが、より少ない人数、1～2人でプレイするのも楽しいものだ。

文字チャットの場合は、複数人が入り乱れてロールプレイすると混乱が激しくなるから、小人数のほうが密度の濃いロールプレイができるし、ボイスチャットでも、より高密度に関係性に寄り添ったプレイができることに変わりはない。

もちろん、小人数セッションはこれまでで紹介してきたように、オフラインであっても大変に楽しいものだ。が、その上でよりオンラインで盛んな遊び方なのも事実である。

### プレイヤー2人で遊ぶ

プレイヤーが2人の場合、参加するカオスフレアのコロナは、必ず聖戦士と星詠みの組み合わせにすること。加えて、以下の特殊処理が追加される。

#### ▼《希望の灯火》

聖戦士のキャラクターは《希望の灯火》を使用できるようになる。この特技は経験点を消費せず使用できるが、PCが2人以下の場合にのみ使用できる。

#### ▼光芒の守り

非常に少ない人数でダスクフレアやEvilと戦うことになったカオスフレアには、三千世界の力弱き人々の願い、そして宿命と業が介入し、守りを与える。これが「光芒の守り」である。参加しているPCが2名以下の場合、「光芒の守り」の効果を受けているものとして扱う。

「光芒の守り」を受けているキャラクターは、「GMのフレア」のチェック数×30点だけ、受ける実ダメージが常に減る。この効果はいかなる効果によっても打ち消されることがない。

#### ▼ダスクフレアの【HP】調整

ダスクフレアの【HP】は基本ルールブック通りの指針の通り作成した後、最終的な数値を半分にすること。ダスクフレアテンプレートについても同じ。

#### ▼Evilのクリティカル

PCが2人以下のセッションでEvilがクリティカルした場合、そのダイス目は30ではなく20として扱う。

#### ▼フレアとソフィア

PCが2人の場合、PCのソフィアについては、聖戦士を「スペードとクラブ」とし、星詠みを「ハートとダイヤ」として、108枚2デッキのトランプを使用すること。これは、単に54枚のスペードとクラブだけで遊ぶと、即座にフレアが枯渇するので、これを回避するための処置である。(星詠みを本来のクラブから移動させているのは、色でわかりやすくするためだ)

### プレイヤー1人で遊ぶ

PC1人の場合、自動的にコロナは聖戦士となり、ソフィアは「スペードとクラブ」となる。GMは星詠みのコロナをNPCカオスフレア(CFSC,P205)を作成し、PCのパートナーとして運用するよくだらう。

### ▼NPCカオスフレアのフレア

基本ルールブックでは、NPCカオスフレアのフレアはPC同様の運用を推奨しているが、GMの処理を容易にするために、次の処理を提案する。

- ・GMは山札からハートのAと絵札3枚と10、ダイヤのAと絵札3枚と10を抜き出し、「NPCフレアデッキ」とする。
- ・戦闘時にGMは「PCの手札上限」と同じだけ、「NPCフレアデッキ」からフレアを引き、そのシーンのNPCの手札とする。「NPCフレアデッキ」から得られたフレアは、捨て札ではなく、「NPCフレアデッキ」に戻る。
- ・プレイヤーは、自分のフレアをNPCに投げてもよい。
- ・シーン終了時にNPCはすべてのフレアを捨てる。配られたフレアは捨て札に、「NPCフレアデッキ」のカードはフレアデッキに移動する。

### Evilの修正

執行者がセッションに参加していない場合、Evilには「《魂魄破壊》の効果を受けると無効化される」旨のテキストを持った特技を取得させてはならない(あるいは、何らかの手段をセッション中に用意する)。

きぼう ともしび  
**希望の灯火**

種別：－  
能力値：自動成功  
タイミング：オートアクション  
対象：単体                      射程：シーン  
代償：なし  
効果：あなたを、無数の人々の声なき願い、希望を信じる魂が後押ししていることをあわす特技。そのかすかなフレアは、邪悪に抵抗する者に運命の助けを与える。  
対象が判定を行なった直後に宣言する。山札からフレアを1枚引いて表にし、対象の行なった判定の達成値を、引いたフレアの数字だけ減少させる。この特技は1ラウンドに「GMのフレア」のチェック数回だけ使用できる。引いたフレアそのものは、即座に捨て札とせよ。

経験点チケット

・担当GM名	1点
・シナリオ名	
・プレイ年月日	
・観客名	

※個人使用に限り、コピーを許可します。